

いづみさの
南海本線 泉佐野駅 (泉佐野市) ~ JR阪和線 山中溪駅 (阪南市)

歩行距離 12.1km
標準歩行時間 2時間32分
標準所要時間 5時間40分
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

府道64号を進み関西空港自動車道をくぐって二股に別れた道を左に入ると、街道の面影を残す檜井のまち並みが続きます。粉井、厩戸王子を過ぎて、信達へ入ると元宿場が続きます。かつての宿の屋号の札を掲げる民家もあります。和泉鳥取駅からは阪和線と阪和自動車道に沿って歩き左の道に入ると、石だたみで整備された散策道に入り山中溪に着きます。



● 初井王子～馬目王子

<初井王子>後鳥羽上皇が参拝し、里神楽を奉納し、白拍子が舞い、相撲三番を催しました。檜井王子とも称されます。<厩戸王子>「和泉名所図会」に「信達の宿 厩戸御所に入給ふ」とあり、御幸の折に宿泊する御所がありました。江戸時代には参勤交代の旅館としてにぎわいました。<信達王子>馬頭観音、地藏菩薩を祀り、新達一瀬王子とも称されます。このあたりは今も街道の面影を色濃く残しています。<長岡王子>「大阪府の

歴史』には「和泉鳥取駅前、石の鳥居附近」とありますが場所は特定できません。石の鳥居は波太神社の伏拝鳥居といわれています。<地藏堂王子>この王子の南側に「琵琶ヶ岸懸」と呼ばれた熊野詣の難所がありました。『泉州志』によると「琵琶法師が谷に落ち琵琶が途中の木にひかかっていた」とあります。<馬目王子>ウハ目王子、宇麻目王子とも称され、その昔「山中の足神さん」として信仰を集めていました。

● 海会寺跡

海会寺跡は、発掘調査が進められ、「法隆寺式伽藍配置」の寺院と、その周囲にあった豪族集落の構造が明らかになりました。五重塔、金堂、講堂、回廊などの建物があり、瓦、仏像をはじめ多種多様な遺物が出土しています。(写真提供:泉南市教育委員会)



● 林昌寺

聖武天皇の勅願により、天平年間に行基が開山したと伝えられる真言宗の寺。平安時代、堀川天皇が御幸の折、山つつじの見事さに自ら山号を躰躰(つつじ)と改め、寺号を林昌寺としました。毎年5月になると手入れされた庭園でつつじが色付き始めます。



スタート地点までの電鉄情報

大阪方面	なんば駅	南海本線・急行	約34分	泉佐野駅
大阪方面	天王寺駅	JR阪和線・快速	約37分	日根野駅
和歌山方面	和歌山市駅	南海本線・急行	約29分	泉佐野駅
和歌山方面	和歌山駅	JR阪和線・快速	約24分	日根野駅

帰りの電鉄情報

大阪方面	山中溪駅	JR阪和線	約16分	日根野駅	JR紀州線・快速	約34分	天王寺駅
和歌山方面	山中溪駅	JR阪和線	約16分	和歌山駅			

